



情報公開に現場対策、団体交渉も後手

対応の遅さに現場は憤懣

この現状に「仕方ないから」でいいの？

4月17日の夕方、JR東日本八王子支社は「豊田駅社員の新型コロナウイルス感染」に関するプレスリリースを「**投げ込みプレス※**」で発表。ところが、この内容が**会社のホームページに掲載されていない**（5月1日現在）。この対応には社員はもちろん、利用者も疑問を抱かざるを得ない。

同業他社の事例に見る情報公開

一方首都圏の輸送を担っている同業他社では、**ホームページに感染判明までの経過を含めて発表している**。5月1日現在、三多摩支部では**西武、小田急、京王の各社で社員の感染情報発表を確認している**。投げ込みプレス（八王子支社・豊田駅／横浜支社・向河原駅）や管轄する**保健所の発表を受けての後出し**（長野支社・長野総合運輸区）は、利用者はおろか社員の**不安を拭うことはできない**。「**正しく速やかな報告**」を社員に求めておきながら、利用者への告知は図ったかのように地味なスタイルであり、利用者や社員へ示しが付かない。社員の会社に対する不信任は募るばかりだ。

JR東日本「プレスリリース」のページ（イメージ）

本社・支社のページともに掲載がない！

2020年4月22日 関東 イベント中止
 2020年4月20日 本社 臨時列車の運
 2020年4月20日 関東 新型コロナウイルスの影響による臨時列車の運休について
 2020年4月17日 関東 上野駅公園口駅舎の展望テラス、改札外トイレおよび新店舗の開業延期のお知らせ

団体交渉に垣間見る後手

八地申6号の経過を

読み解く

団体交渉の会社回答にも、昨今の情勢に対する後手な対応が見てとれる。マスク配布の考え方がブレていたり、**自宅待機社員への勤務の取扱いはバラバラ**：この回答を見て社員が安心して働くことができるのか、甚だ疑問である。過日掲示された**社長見解**で「36協定の締結事業者は支社長」としておきながら、**異常時の判断は現場長とは、説得力に欠ける回答**である。詳しくは八王子地本の

Hachioji MAIN NEWS No. 62～No. 64を参照。

これらの対応を見て「仕方ない」と思うのか、「変える手段があるなら、それにあやかりたいし、力を貸したい。」と思うか。「あなたの人生に責任を持てるのは、あなただけだ。」と、さも正論の如く会社幹部が力説したとの情報もある。ならば自分たちの人生をより豊かにする手段を、無責任も同然の会社に求めていいのかわ。願わくは、私たちJTSU-Eとともに会社の考えを明らかにしていこうではないか！

※**投げ込みプレス** 各報道機関の机の上や棚にプレスリリース文書を配ることをもって「発表」とする方法。（Wikipediaより）

私たち JTSU-E とともに会社の考えを明らかにし、安心して働ける職場を創るなら今！